

みんなの全断連短信〔第27号〕

平成23年4月1日創刊
平成25年6月1日発行

(発行責任者) 中田克宣 (発行者) 公益社団法人全日本断酒連盟 事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-2 ☎03-3863-1600

平成24年度市民公開セミナー統計から

—開催回数・参加人数とも大幅増加！高い外部参加比率！—

(表1) 総計表

年度	開催道府県数	開催回数	総参加人員
平成24年度	26	37	4,998
平成23年度	15	21	3,287
増減	+11	+16	+1,711

(注)

表1の総参加人数には、行政・一般・断酒会別の参加記録の無いセミナーが含まれています。記録のあるセミナーから整理した統計を(表2)にまとめました。

(表2) 参加人員内訳表

年度	参加人数				外部比率	一般比率
	医療・行政	一般	断酒会	合計		
平成24年度	680	934	3,019	4,633	35%	20%
平成23年度	388	1,014	1,885	3,287	43%	31%
増減	+292	-80	+1,134	+1,346	-8%	-11%

○外部比率は医療行政と一般参加者の合計の占める割合 ○一般比率は一般参加者の占める割合

1. 前年と比較すると、医療・行政と断酒会参加者が飛躍的に増加している反面、一般参加者が80人減少している。これは、昨年の愛知県のセミナーで一般参加者360人という破格の人数を記録した結果であるので問題にならない。一昨年(平成22年)の一般参加者は784人であった。
2. 外部比率、一般比率が大きく低下しているが、断酒会会員の参加が急増した結果であり、医療行政参加者の絶対数は大幅増加、一般参加者数も一昨年比順調に伸びているので懸念材料にはならない。
3. 全体参加者数に占める医療行政・一般からの参加者比率は、他の断酒会行事に比較して圧倒的に高く、公益活動を目指す断酒会の看板事業として今や不可欠なものに育ちつつあることが分かる。

全断連主催行事報告

① 中部ブロック(愛知)大会

4月21日知多市勤労文化会館で(N)愛知県断酒連
合会結成40周年記念大会と併せて開催。

全断連からは中田理事長他理事多数他事務局出席。
・テーマ「おもしろい」「共生へのわかちあい」
・記念講演 アスク 水澤都加佐氏「おもしろい」
参加者は行政17、医療26、一般33、マスコミ2
断酒会835、総計913名。

② 松村断酒学校(高知)

5月11~13日、例年通り本山町立プラチナセン
ターで開催。

全断連から中田理事長他理事多数が参加。
アルコール問題議員連盟の中谷 元衆院議員が来
賓として出席された。

参加者は、医療・行政55、会員家族247名、総計
302名を得た。

③ 北陸ブロック(新潟)大会

5月12日、新発田市生涯学習センターで開催。
厚労省・新潟県・新発田市・新潟日報・NST後援
全断連からは小栗副理事長他事務局も参加。

・テーマ：感謝・奉仕
・記念講演：かとう心療内科クリニック院長 加藤

佳彦氏「自らの問題点を明確にする」
参加者総計172名(来賓3名を含む)

ブロック協議会報告

○近畿ブロック協議会 4月14日京都西陣会館。

- ① 奈良県連会長交代予定 渡邊雅男→新井和彦
- ② 滋賀県断酒同友会、生駒断酒会HP開設
- ③ 平成26年度近畿ブロック(奈良)大会
9月14日に決定

④ 昼例会の位置づけ・役割再確認
(全断連関連)

- ① 賛助会員に関する説明と設問への回答依頼。
- ② 医療機関入院患者対象の機関紙配布活動を説明
- ③ アクション・プランについて、「酒害研修講座」
「リーダーを考える研修会」を重点施策として実
施することを確認。

全断連HP相談窓口見直し依頼

本年も全断連ホームページ相談窓口の一斉改訂を
行います。相談窓口は未加入酒害者の命綱です。

4月5日付県連宛て全断連事第25-10号にて協力を
依頼中。例年、変更があるにもかかわらず修正申告
を行わないケースが目立ちます。ご協力願います。(締
切6月30日)

アルコール問題議員連盟拡充協力活動

奈良県断酒連合会、東京で議員事務所に要請実施

全断連はアル議連の議員拡充のため、加盟断酒会に地域での地元選出議員に対するアルコール健康障害対策基本法への賛同と議連参加の働きかけを依頼中。

これを受けて奈良県連は3月26、27日地元選出の衆院議員5名、参院議員2名に対する要請のため上京。渡邊会長、新井和彦、上本武夫の3氏が全断連顧問の高市早苗衆院議員をはじめ全議員の東京事務所を訪問した。

結果は上々で、即日基本法への賛同ないし議連参加表明をいただいた。

(詳細:「かがり火」7月号に掲載)

名古屋「基本法制定を願う集い」開催

5月11日名古屋市東建ホールで日本アルコール関連問題学会東海北陸地方会と愛知・三重・岐阜・静岡県連の共催により開催。中部に加え、近畿ブロックからも多数の断酒会員が参加し、集いを大いに盛り上げ大成功に導いた。

- ・基調講演 大阪新生会病院院長 和気浩三氏
- ・アル法ネット、医療・断酒会等各方面から基本法への期待と抱負が語られた。
- ・アルコール議連から中川正春衆院議員が出席された他、多数の衆参両院議員からメッセージを頂いた。
- ・NHKの取材が入り翌朝全国版で報道された。

参加者は国会議員2、行政23、医療介護128、一般39、断酒会257、総計449名

(詳細:「かがり火」7月号に掲載)

厚労省依存症対策検討会議終了

厚労省による民間の関連医療機関、自助団体等(全断連も参加)の有識者を集めた6回にわたる依存症対策検討会は昨年11月に開始、本年3月末に終了した。注目された最終報告について「かがり火7月号」に掲載します。是非、ご覧ください。

2013年社員総会議案書要旨(2)

5月号に続き、議案要旨を掲載します。

議案書訂正 24ページ16行目(お詫びいたします)

全国大会場所:(誤)浦添市→(正)宜野湾市

(第4号議案)長期事業計画および平成25年度事業計画議定の件

・長期事業計画基本方針:①酒害啓発と断酒会組織活動の周知。会員の拡充と定着 ②酒害相談・助言事業の強化 ③断酒会の社会性指向 ④アクション・プランの実施推進 ⑤アルコール健康障害対策基本法制定の推進。

・平成25年度事業計画

- ①全断連主催行事 ②アルコール議員連盟の拡充と基本法の周知・賛同に努め法案の成立を支援。
- ③社会協力事業の継続(飲酒運転問題対策・自殺予

防対策・酒害相談窓口の拡充・酒害相談センター構想等)④アクション・プランの実施推進。会員の意識と知見の向上、会員の増加と定着を目指す。

(第5号議案)平成25年度予算議定の件

収入予想4,500万円、総支出4,700万円(事業費3,700万円、管理費1,000万円)、経常収支▲200万円。アクション・プラン推進補助金等組織強化部会予算継続に加え、全断連結成50周年記念式典関連費用など支出増要因が多い一方、その他経費の圧縮により前年比300万円の支出削減となっている。

代議員返信ハガキ投函のお願い

返信ハガキの到着期限は5月31日ですが、5月20日現在、総会成立数に到達していません。まだ投函されていない方は、出欠連絡ないし書面評決のほど宜しくお願いします。

東京セミナー参加募集

参加者の募集を開始(県連事務局・ブロック長宛て5月10日付全断連事第25-26号)。

○概要

- ・開講:平成25年8月24日(土) 13:00
- ・閉講: 8月25日(日) 12:30
- ・場所:晴海グランドホテル(東京都中央区晴海)

○募集要項

・募集人数:

本人:90~100名(原則として各県連1~3名) 県連でまとめて申し込みのこと。

家族:25~30名(原則として1ブロック3名) 各ブロック長がまとめて申し込みのこと。

・参加資格:特に定めませんが、地域断酒会の中堅以上の会員を対象とし、次代の断酒会をリードする人材の育成を目的とします。

・参加費:12,000円(宿泊費・食事代を含む)

・申込期限:平成24年6月30日

○プログラム

・メインテーマ:「社会資源としての断酒会」

・講演:東京アルコール医療総合センター長 アル法ネット副代表 垣渕洋一氏

「アルコール健康障害対策基本法と地域連携」

・分科会形式による討論会と全体報告会

☆詳細は、所属県連に照会ください。

全断連主催行事予定-8月まで

- 6/2 東北ブロック(宮城)大会
- 6/22 全国評議員会(東京)
- 6/23 全断連第3回定時社員総会(東京)
- 7/27、28 北陸断酒学校(富山)
- 8/4 四国ブロック(愛媛)大会
- 8/24、25 全断連東京セミナー(東京)
- 8/30~9/1 山陰断酒学校(島根)
- 11/17 全断連第50回全国(沖縄)大会
全断連結成50周年記念式典